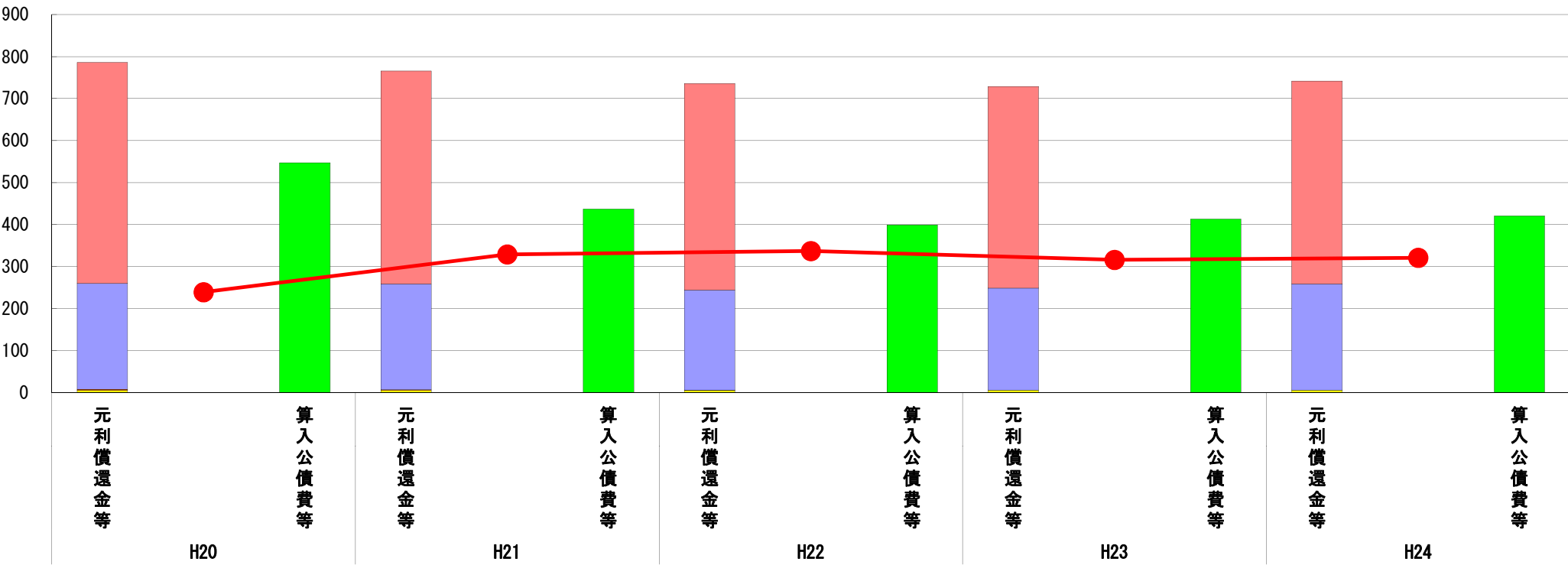


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

岡山県早島町

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		526	507	492	480	483
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		252	252	238	243	253
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		3	2	1	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		5	5	5	6	6
	一時借入金の利子		0	-	-	-	-
算入公債費等 (B)		算入公債費等	547	437	399	413	421
(A) - (B)		実質公債費比率の分子	239	329	337	316	321

分析欄

町民総合会館建設にかかる地方債償還に対する地方交付税措置終了にともない、平成21年度以降実質公債費比率が上昇した。その後、多少の増減があるも一定水準で推移してきた。こうしたことから、地方債の新規発行にあたっては地方交付税に算入される有利なものとしながら実質公債費比率の改善に努める。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。